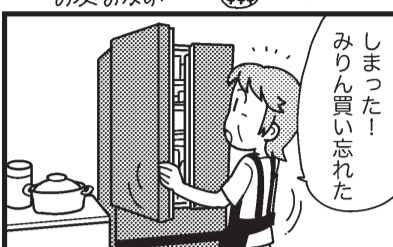


あかあ!



渋谷区と新宿区にまたがって
建つ国立競技場

我が街の記念碑

国立競技場

大江戸線 駅徒歩1分

53



【渋谷・とび・金子寿道記】
大会史上初の1年延期となっ
て開催された2020東京五
輪・パラリンピック。昨年7
月23日の開会式からもうすぐ
1年になります。今回紹介す
るのは、コロナ禍で世界が注
目するなか、無観客で開会式

感動、負債、犠牲者 いったい何が遺ったのか

先月末の組織委員会解散の際の報道では、招致段階では7千億円、余りだったものが倍の1兆4千億円、地方自治体や国の経費も含めると3兆円とも見られており、多額の国民の税金が使われました。多くのアスリートが苦しい練習を経て活躍している姿に感動や勇気をもらいましたが、建

設や運営費は金額に見合うものだったのかどうかは疑問が残ります。建物以外にも東京五輪で実際に使われた聖火台が国立競技場の外新宿区側に展示してあり、また、組織委員会があった建物(渋谷区側)現在は東京五輪ミュージアムの外には大きな五輪の輪のオブジェや長野五輪の時の聖火台のレプリカなどがあり、無料で見ることが出来ます。

「東日本大震災からの復興」「持続可能性」などが掲げられ「レガシー遺産」として何を残すのかと当時は盛んに言われました。そんななか、若い現場監督が過労死のため自殺しました。「あなたの死。そしてあなたを過労死に追いやった国立競技場の前に、多くの仲間が連日抗議に駆けつけたことを忘れない」とそれが私にとってのレガシーです。

私が生まれ育ったのは府中市東部の紅葉丘という地域です。今でこそ東京外語大や味の素スタジアム、榊原記念病院、警察大学が誘致され、地域外からの往来が多い地域となりましたが、昔は多摩霊園があるくらいで本当に何も



大工 渡邊 昭作

忘れえぬこと

駐在来たら教えて 父から継ぐ運動の喜び

ない街でした。東京土建の創設メンバーである石工たちが多く住み、墓参の時期は賑わったのを覚えています。私の父は大工、そして東京土建の組合員でした。ある日、父に「電信柱に賃金 単価ピラを貼るから手伝ってくれ」と言われました。当時の私は中学生、単価ピラってなんだ?」と思いつつ、付いて行きました。すると父から「こうして糊をつけて貼っていくけど、駐在さんが来たらずに教えてくれ」と。ようするに

不遇

19世紀中頃、ハンガリーで産褥熱の発生数が多く、産婦死亡率も高かった。医師のセメルヴェイス・イグナツは、助産婦と医師との発生数に差があることに着目。調査した結果、手を消毒することで死亡率が変わると訴えた。実際、消毒で死亡率は劇的に下がったが、多くの医師たちは反発し、自らの過ちを認めようとはしなかった。彼の説が日の目を見たのは、死後20年が経過してからのことである。

詰将棋

6	5	4	3	2	1
		▲		▲	
			▲		▲
				▲	
					▲

持駒 飛桂

チヨット一服(1062)

ウクライナの戦地取材したジャーナリストの志葉玲さんを講師に招いた際、同国のロック歌手、ダリア・ザリツカヤの動画が紹介された。彼女はバンド、シェーシェン&ザリツカヤとして Youtube で71・6万人のチャンネル登録者を持つ人気者という。

抜群のビジュアルで、ハードロックの名曲カバーを激しく歌うザリツカヤ。そのワールドでスモーキーな魅力的な声に、何曲も聴き入って(見入って)しまった。

戦争がなければ、今以上の活躍があっただろう。彼女は「自分でできることは、やはり音楽」と、バンド共に現在もギターにとどまっている。

ほん

会い、仕事のアドバイスや世間話など色々な話をします。ありふれた内容ですが、主人公にとって自分を見つめ直す重要な時間でした。若い世代は自分や同僚、友達、親世代は子供や部下と重ねてみてほしいかもしれません。(メディアワークス文庫・693円税込)

ちよつと今から仕事やめてくる

北川 恵海

死ぬほど嫌なら我慢しなくていい

【本部・大崎理記】タートルが斬新で、目にした瞬間、何か吸い込まれるように手に本を取りました。あらずじは、大学卒業後にブラック企業で働き使われて心身共に衰弱した主人公が無意識に線路に飛び込むとしたところを「ヤマモト」と名乗る男に助けられる。同級生を自称する彼に心を開き、何とか助けてもらうが、このヤマモトには秘密があり... というもの。

この本を読んで学んだことが2つあります。①我慢はあんまりしなくていい、②人の話を聞くことです。働く人が自殺するというニュースをよく目にしています。生きていく中で、死を考へる人もいれば、全く考へない人もいます。それぞれ自由です。でも、

自分のことを大事に育ててくれた人はどう思うのでしょうか。一歩立ち止まって考えてほしい。そんなメッセージを感じました。世の中には理不尽なことが山ほどあります。全部受け止めていたら、大変です。ヤマモトは主人公に、「会社、辞めたら」と言います。でも、就職難でやつの思いで入った初めての会社、なかなか辞めることができないーそんな心の葛藤がリアルに描かれています。死を考へるほど嫌なら、我慢せず逃げてもいいと思いませんか。

時間がないと人の話を聞けないですよ。ヤマモトは何度も主人公に

